

審美修復治療において真に患者さんの満足を得るために、また咬合崩壊に至った症例において確実にメンテナンスできる環境に導くためには、全顎的な咬合再構成を伴う治療計画が要求される。ここ数年で確立されたボンディング・レストレーションという新しいコンセプトのもと、ミニマル・インターベンションの概念に沿った最小限の侵襲で咬合再構成を実践することが可能となりつつある。さらに近年めざましい発展を遂げるインプラントとその適応症の拡大という武器を組み合わせることにより、より確実な治療計画と安定した予後を得られることができるようになった。

本コースでは多くの講義、臨床ビデオ、実習を組み合わせ、アプローチ方法から診査診断、治療計画の立案、実際の手技を5ヶ月間で習得していただきたい。今回は特に下記に重点を置きます。



- ①咬合力のコントロールとして全顎症例を的確に行う必要性和その術式
- ②咬合力のコントロールとしてインプラントの適応症拡大：GBR,スプリットクレスト、ピエゾサージェリー、ソケットリフト
- ③上記+審美歯科へのアプローチと術式

有吉 洋

■講師：有吉 洋(熊本市開業) ■定員：10名

■対象：有吉洋を講師とするベーシックコース受講済みの歯科医師

■会場：(有)ハマダ歯科商店 沖縄店研修室

那覇市古島2丁目24-13 TEL：098-886-5234

■費用：360,000円(4ヶ月間 消費税含む)

資料代・弁当代・豚下顎、弁当代、メス替刃、針付縫合糸など含む  
ただし、ダイヤモンドバーは別途ご持参またはお買い求めください。

■歯科技工士同伴について

コースを通じて受講生のパートナー歯科技工士の聴講が可能です。  
土日4ヶ月間で実費として25,000円となります。事前お申し込みが必要です。



■内容とスケジュール： 土曜日 10:30～19:00、日曜日 10:00～16:00

回	月日	内容
1	2010/07/03,04	診査診断と咬合の実際・下顎位の設定・診断用ワックス・トリートメントプランニング
2	2010/09/04,05	咬合のコントロールを目的としたインプラント 診断と術式の選択
3	2010/10,02,03	インプラント適応症の拡大と各種システムの選択基準・埋入と歯周外科実習(豚実習)
4	2010/11/06,07	MIに基づく治療計画と材料の選択基準・ダイレクトレストレーション プロビジョナルレストレーションの調整
		オールセラミクス・ラミネートベニアの形成と印象・装着とメンテナンス

■主催：(有)ハマダ歯科商店

那覇市古島2丁目24-13 TEL:098-886-5234  
[jiro@dhamada.com](mailto:jiro@dhamada.com) Fax097-886-5275

■共催：スタディグループA O G 熊本市小峯1丁目1-95 TEL 096-331-0567 Fax096-331-0577

[taka@ourdent.com](mailto:taka@ourdent.com) 090-3328-9989

氏名		連絡先 e-mail 携帯	
医院名		同伴 技工士名	